



セレクトショップ「Strictly VIBES」オーナーでもあるSHANDI-I。「エディさんがお店で服を買ってくれたことがきっかけ」で今宵のイベントにまで話は膨らんだ。「今日は初レゲエの人にレゲエを感じてもらいたい」。一曲目は当然、リスベクトするポップ・マーレー!

「中川酒店」オーナーのエディ中川さん。SHANDI-IやKads MIDA と同世代だし、京都の(大きな意味で)レゲエシーンを引っばって来た人だし、ずっと仲良し...と思ったら、知り合ったのは意外にも割と最近。でも然るべくして並んだ3ショットです

「東京から新幹線で京都に来て、METRO までいるんな風景を見て、今宵のフロアも見て、それを塗り込んだ」のが京都出身 Kads MIDA の今回の傑作。「なかかわ〜酒店」にも飾られている氏の絵も必見!

## 中川酒店 + Sugar Trip + COCOTEAL Anniversary Party!!! REGGAE TIME @ METRO

# 「ナカサケ」という存在が証明した 京都とレゲエのクロスオーバー

京都という極日本的な街と、レゲエという南国ルーツの音楽ジャンルの最大公約数、それは「中川酒店」である、とここでは言い切りたい。90年に出町柳で産声を上げ、「散々酒屋と間違えられながらも(笑)」店名には一切手を触れず、「コロツケ・ビール・レゲエ」を謳い続けて18年。気づけば木屋町店、三条店の3店舗を構え、今もレゲエが店内に響き渡っている。18年×365日、毎日レゲエ。誰も文句は言わない。

今宵はその「中川酒店」、そして出町柳のバー「Sugar Trip」、くアハロン「COCOTEAL」の連合周年パーティーだったわけだが、牽引するのはやはりレゲエだ。そもそも、レゲエという音楽はジャズやR&Bをルーツに持ち、それがジャマイカのカリブソやメントなどのカリビアンミュージックとフュージョンすることで生まれた。誕生そのものが異種配合だったわけで、本質的にレゲエは文化も海も越えやすい。多様化を繰り返す音楽シーンにおいて、レゲエもまた複雑多岐に枝葉が分かれているが、こと今宵においては、ダブ、ロックステディ云々のジャンル、そして京都という街をもクロスオーバーし、「中川酒店」ナカサケというメイド・イン・京都のレゲエシーンの枝葉を垣間見たようだ。

メインイベントとして行われた、京都きつてのダブ第一人者SHANDI-IとアーティストKads MIDAによるライブペインティングでそのことは証明された。絵に塗り込むのは、「ソウルとバイブレーション」by Kads MIDA。紫煙を鼻から燻らせる男の手は印を結ぶ。円、縁? 輪、和? 捉え方は人それぞれ、だがこの絵が「メトロの空気を塗り込んだ結果」ならば、この絵こそ「ナカサケ」ではないか。

18年という歴史を祝い、「中川酒店」オーナーであるエディ中川さんの言葉でこのレポートを締めたいと思う。「僕の血の半分は、レゲエでできている」。





三条にある姉妹店「なかくわ〜酒店」の店長アマノッチさん、遅ればせながら参戦。「これから中川酒店をヨロシクです!」



テルイーンさん(左)とゴエモンさん(右)は、ともに美容室勤務。初レゲエに「癒される〜(愛)」を連発!



知り合いの、知り合いの、知り合いの…で今宵METROにやってきたナツコ&トータ&ユウ。「今日は初レゲエ、超楽しみ!」



木屋町店スタッフのナオミさん(右)とその友達の匿名希望さん(左)。「エディさんの金髪にメロメロ〜」で、この後、エディさんに抱きついてました。奥様いますって!



マイ、カナ、ユリ、ハナ、ミク、ミエコ…皆々、「レゲエ大好き!!」。今宵の狙いはBOOGIE MAN? KURTIS FLY?



周年側の皆様。左からエディさんと「COCOTEAE」オーナーかつ、エディさんの義理の弟でもある山本さん、その横がエディさんの奥様。そして右は「COCOTEAE」スタッフの黒田くと手前は上島さん



木屋町「すい月」からマーキーさん(右) & マモさん(左)。「中川酒店にはいつもお世話になってます! 3月、僕らも新店舗予定です!!」